

2 水稲疎植栽培の経営的メリット

[作業時間]

疎植栽培では、慣行栽培に対して、使用苗箱数が40%程度減少し、10 a 当たりの播種・育苗作業時間や移植作業時間が少なくなる。

[収益性]

疎植栽培は、慣行栽培に対して、種苗費、農業薬剤費、諸材料費が減少し、10 a 当たりの生産費は5%程度低減できる。

表1 作業時間

(時間/10 a 当たり)

作業名	作業内容	作業時期	作業時間		摘要
			疎植区 株間32cm	慣行区 株間18cm	
播種・育苗	播種・管理	5下～6中	0.92	1.54	
耕起・整地	耕うん代かき	5下～6上	3.05	3.05	耕起は2回実施
施肥	基肥	6上	0.60	0.60	基肥のみ
移植	箱施肥・田植	6中	1.21	1.28	
除草	除草剤・手取り	6下・9上	0.67	0.67	除草剤は2回施用
防除	本田防除	8上・下	0.60	0.60	2回防除
管理	水管理等	6中～9中	3.00	3.00	
収穫	コバの収穫	10上	1.64	1.64	
合計			11.69	12.38	

注) 2002年東予試験地データ

表2 収益性

(10 a 当たり)

作業名	収益性		摘要
	疎植区 株間32cm	慣行区 株間18cm	
種苗費	919 円	1,503 円	種子
肥料費	5,290	5,290	化成肥料
農業薬剤費	14,191	15,784	農薬・除草剤
光熱動力費	1,981	1,981	農機燃料
諸材料費	6,547	8,238	資材
水利費	3,197	3,197	水利費
賃借料・料金	20,078	20,022	乾燥・調製委託料
農機具費	28,177	28,177	償却費・小農具費
(うち減価償却費)	(25,025)	(25,025)	
物財費計	80,380	84,192	
労働費	17,805	18,637	家族労働見積額
生産費計	98,185	102,829	物財費 + 労働費
収量	577 kg	573 kg	ヒノヒカリ坪刈り収量
粗収益	130,055 円	129,154 円	@6,762円/30kg
所得	49,675	44,962	粗収益 - 物財費

注) 2002年東予試験地データ

疎植栽培は、省力・低コストにつながる栽培である。